京都外国語大学校友会会報

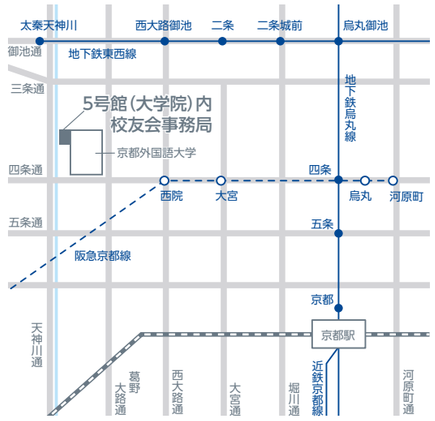
ALUMNI NEWS No.37

令和４年(2022年) ６月15日発行

発行人＝京都外国語大学校友会　会長　中野多郎右工門

発行所＝京都外国語大学校友会

編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会



京都外国語大学校友会

〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地

TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220

https://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

No.37

京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS



京都外国語大学校友会

CONTENTS

01 新会長挨拶
京都外国語大学校友会　新会長　中野多郎右エ門

02 前会長挨拶
京都外国語大学校友会　前会長　島谷直見

03 理事長・総長挨拶
学校法人　京都外国語大学　理事長・総長　堀川徹志

04 学長挨拶
京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長　松田　武

05 京都外国語大学校友会設立60周年記念式典『卒業生の集い』

06 寄稿文
〔国内〕山根典子／焼田　功　〔海外〕咲乃月音

09 海外からのお便り
倉住里美／浅越絵美子

10 祝「校友会奨学金授与」慶びの声
・外国人留学生給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）／（留学生別科）
・「輝く星となる学生」給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）
・併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金　授与式

12 「輝く星となる学生」奨学生の今…／「外国人留学生給費奨学生」の今…

13 京都外国語大学創立75周年記念行事

14 国際貢献学部　はじめての卒業生

16 在学生からのメッセージ

18 支部だより
・和歌山支部／兵庫支部／滋賀支部
・福岡支部／東京支部／EU支部／日本語学科30周年記念行事

20 令和３年度　事業報告／令和４年度　校友会事業計画

21 校友会役員／常任幹事／支部連絡先（国内・海外）／活動中のクラブOB会紹介

京都写真散策
Kyoto Photo Walk



〔写真・文〕アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

「写真に撮りたい美しい花手水」

花手水を見るようになったのは最近のことである。京都のあるお寺が梅雨の季節にアジサイの花を手水鉢いっぱいに浮かべたのが始まりで、SNSであっと言う間に全国に広まったらしい。

特にこの数年、コロナ禍の中で感染防止から手水鉢が使えなくなったこともあるが、気持ちの沈みがちな人々に、少しでも和んでもらおうと花を浮かべるお寺が多くなった。華やかで美しくフォトジェニックな「花手水」はインスタ映えする。

さて、この写真は北野天満宮の花手水である。25日は「天神さん」、参拝がてら骨董市を見に行った。楼門を抜けるとすぐ右手に大きな手水舎がある。見ていると多くの参拝者がスマホを片手に撮っていく。私もその一人ではあるのだが……。

色とりどりの花は撮影心をそそるような美しい色艶を発散していた。

「青春のふる里」が大きな支え。



京都外国語大学校友会
新会長
中野　多郎右エ門
NAKANO Tarouemon

全国の校友の皆様、平素から京都外国語大学校友会にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。この度、７年間会長をお務めいただいた島谷直見前会長の後任として会長を務めさせていただくことになりました。昭和44年度英米語学科卒業の中野多郎右エ門と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私にとって大変光栄であるとともに、今年は学園創立75周年（1947年５月京都外国語学校創立）であり、校友会設立60周年の節目の年、1947年生まれの私と同い年での会長就任となり、ご縁の深さと強さを感じ、大きな重責に身の引き締まる思いです。

島谷前会長は、日本古来の伝統精神文化を体現されていて、洗練された高度な国際感覚で「人とひと、心とこころを結ぶ」を基に「楽しい校友会」づくりに努められました。このご功績とご苦労に皆様と共に心から感謝を申し上げ、校友会の発展と活動拡充をしっかりと受け継いで参りたいと存じます。

さて、突然世界を襲ったコロナ禍の中で、皆様には様々なご苦労の日々をお過ごしのことと存じます。また、在学生は、入学前に思い描いていたような学生生活の実現が厳しい現状が続いております。そんな中で、大学の厳しい財政状況の中でも変わらず学生に寄り添う本大学が、学生の不安を和らげるため、洋々な対応をされていることに、心から敬意を表します。このような時こそ「青春のふる里」を同じくする校友会の仲間が、お互い励ましあい、社会の次の発展に向けて進むためにも、校友会として学生への支援により一層力を入れていきたいと存じます。

母校が継続的に発展するには「卒業生が元気」でなければなりません。校友の皆様には「不撓不屈」の建学の精神を胸に、卒業生としての自覚を共有し、それぞれの分野でご活躍されることを期待しています。校友の活躍が母校の評価につながり、それがまた校友にとっての誇りとなって返ってくるものでもあります。

これからも皆様の母校愛をさらに熱く、母校ならびに校友会への温かいご支援を力強くお願い申し上げます。

最後になりましたが、森田最高顧問、堀川理事長・総長、そして大学の教職員の皆様の校友会への深いご理解とご協力に心より感謝申し上げるとともに、会員の皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げ、会長就任のご挨拶とさせて頂きます。



古流居合（土佐直伝英信流）で心身鍛錬



UNIVERSITY CLUB OF CHICAGO前でF.E.インボー博士（右）と



東欧捜査官セミナーで日本を紹介

ありがとうございました

Message from SHIMATANI Naomi

京都外国語大学校友会
前会長　島谷　直見



令和４年３月31日付けで、校友会会長を任期満了にて退任いたしました。コロナ禍で１年延長しての７年間の在任ではありましたが、校友会員の皆様、大学の皆様の温かいご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

校友会に代々受け継がれる「人とひと、心とこころを結ぶ」は本当に素敵な言葉です。この言葉の中の「ひと・こころ」が［ひらがな］表示である事がなんとも温かくて優しくて、心に響きます。私の７年間はこの言葉と共に、そして「楽しい校友会」を目標に活動して参りました。

校友会・大学・在学生の３本の糸。

卒業生にとって何よりも身近な校友会でありたい。大学と共にしっかりと歩む校友会でありたい。将来の校友会員である在学生を大切にする校友会でありたい。この理想の３本の糸をしっかりと繋ぎ、美しく織りなしてゆく。これが私の活動信条でした。

私の最後の２年間は、コロナ感染拡大により、校友会も大学も在学生も大変厳しい状況に遭遇いたしました。しかしそれにより、以前よりも増して、「ひと・こころ」がしっかりと繋がり合い、混ざり合う校友会の存在の大切さを強く感じています。

今年度より新会長になられた中野多郎右エ門氏は、校友会の福井支部創設より今日まで支部長として、支部の為そして校友会の為に力強く活動をされてこられました。素晴らしい実行力と温かさ大きさを兼ね備えた、校友会会長として本当にふさわしい方です。必ずや、この校友会を今よりさらに大きく発展させて下さると心より信じ期待しています。

私たちの母校京都外国語大学が世界に誇れる人材を育て、世に大きく羽ばたく卒業生をより多く生み出す為に、共に歩む校友会であるよう、陰ながら応援させていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。

――心より感謝の気持ちを込めて



令和３年度最後の拡大常任幹事会（令和４年３月12日）



校友会より大学への新型コロナウイルスワクチン職域接種支援金贈呈式（令和４年３月29日）

学歌に思う

Message from HORIKAWA Tetsushi

学校法人 京都外国語大学
理事長・総長　堀川　徹志



歌、あるいは音楽は、不思議な力を持つ。人生のさまざまな時にあって、人に道を示し、励まし、慰め、希望を与えてくれる。歌詞のある歌でなくてもいい。クラシックやジャズ、シャンソン、レゲー、唱歌、なんでもいい。人には、ふと口ずさみたくなる歌やメロディーがあるものだ。みなさんは人生でどんな歌、あるいは音楽と出会い、どんな影響を受けられたのだろうか。

学校には校歌や学歌がある。それらは山や河を称え、将来の指針を示し、連帯感を強め、成長の力を与えてくれる。わたしは小中高の校歌をメロディー付で、部分的にだが、今でも覚えている。そして京都外国語大学の学歌は、自分の経歴上、忘れることはない。わが大学の学歌の二番には、こうある。

異国（ことくに）の言葉の林分け入りて
世界に交わる道を拓（ひら）き
われら四海の同胞（はらから）と
平和の礎（いしずえ）ともに築かん

大学のモットーである「パックス・ムンディ・ペル・リンガス（言語を通して世界の平和を）」が格調高く詠われているのである。式典では一番と四番を歌うことが通例だが、みなさんも入学式や卒業式で歌ったことを思い出されるのではなかろうか。

学生を鼓舞する歌はどうだろうか。その役割を果たすのは応援歌である。時代の変化で今は歌われることは少ないようだが、わが大学でも、かつてはクラブやクラスのコンパ、あるいは体育系クラブの対外試合など、いろいろな機会に大声で歌い、気勢を上げていたものだ。その応援歌には、こうある。

語学の道にいそしめる
若き学徒の集うとこ
われらが京都外大の
不撓不屈の精神を
友よ　今こそ示すのだ
おお見よ　王者の貫禄を
おお聞け　覇者のこの叫び
やあ！　われらが母校
栄えある母校　京都外大
外大　外大　京都外大

不撓不屈の精神で人生を生き抜き、社会で活躍してこられたみなさん。今、学生時代にタイムスリップしておられるのではないだろうか。

今年は校友会が誕生してから記念すべき60周年。学歌と応援歌の一部でも口ずさんでみてください。一瞬にして青春が戻るのでは。お元気で！

伝統と変化の調和を目指して

Message from MATSUDA Takeshi

京都外国語大学
京都外国語短期大学
学長　松田　武



京都外国語大学校友会設立60周年にあたり、謹んでお祝い申し上げます。会員の皆様には、日頃より母校の教育研究活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。学校法人京都外国語大学は、おかげさまをもちまして、本年５月に創立75周年を迎えることができました。開学以来、学窓を巣立たれた卒業生は約56,000名にのぼります。三四半世紀にわたり、建学の精神「PAX MUNDI PER LINGUAS（言語を通して世界の平和を）」が、先達から脈々と受け継がれてきたことに深い感慨を覚えます。また、本年３月には外国語学部、短期大学卒業生とともに国際貢献学部第１期卒業生が新たな会員となられたことで校友の輪が一層広がり、大変嬉しく思います。

さて、学校教育には「不易」と「流行」があると言われております。コロナ禍を契機として様々な分野でパラダイムシフトが加速する中、個々の大学においてもそれらを見極める力と教育の質的変化が、これまで以上に強く求められているように思います。

本学にとっての不易とは伝統、つまり建学の精神であり、75年を経た今も本質が変わることはありません。創立当時と現在の国際情勢は異なりますが、依然として世界各地で相互理解の不足に起因した紛争の火種は燻り続けています。平和とは、達成して完結するものではなく、人々の不断の努力によって維持されるものであります。ゆえに、建学の精神は時代を超越した永遠の真理と言えましょう。

一方で本学にとっての流行とは、時代の変化とともに柔軟に変えるべきもの、あるいは新たに取り入れるべきもの、すなわち教育のあり方です。大学は、人材の育成と輩出を通して、社会発展への寄与を期待される立場にあります。したがって、社会変化に呼応した教育プログラムを構築、展開することは重要な責務かつ崇高な使命であると考えております。

不易と流行の調和がとれた変革を推し進めるためには、本学園を支えてくださる卒業生の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。今後とも母校の教育研究活動にお力添えを賜りますよう切にお願い申し上げるとともに、皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。


コロナ禍での入学式（2021年4月）


海外での学長会議にてスピーチ


外国人留学生との交流


姫路にて協定大学副学長一行を観光案内

校友会60年の歴史の上に

『人とひと、心とこころのふれあいを求めて』をモットーに1962年（昭和37年）設立された校友会は今年で60年を迎えます。これは、諸先輩方の一歩一歩の歩みにより本学卒業生の絆を強く結び続けてきた「つながる歴史」です。今年はさらに、国際貢献学部第１期の卒業生を校友会に迎え入れることができました。

「つなごう未来へ」と歩み続ける第一歩として学園創立75周年祝賀・京都外国語大学校友会設立60周年記念式典『卒業生の集い』を開催致します。

今回はコロナ禍のため、懇親会は中止し講演会を行います。講師には辛坊治郎氏をお迎えいたします。辛坊氏は現在、株式会社大阪綜合研究所代表で、テレビ・ラジオの他、YouTube・講演会など幅広くご活躍中です。

校友会会員のみなさま、是非ともこの機会に同級生やご友人、クラブOB会の皆様、母校にお集まりいただき、楽しいひと時を過ごしていただきますようご祈念いたします。

60周年記念式典『卒業生の集い』でお会いしましょう。

2022　総会実行委員会

京都外国語大学校友会『卒業生の集い』

テーマ

「明日を読む
～溢れる情報の海を乗り切るには～」

入場無料

日　時　2022年 10月8日(土)　受付／12：30～　総会・講演会／13:00～

場　所　京都外国語大学 森田記念講堂



辛坊 治郎 氏

元 民放解説委員長 海洋冒険家

〔プロフィール〕しんぼう・じろう
長年テレビ、ラジオ、出版等を通じてジャーナリストとして活躍。2021年にヨットで太平洋単独無寄港往復横断に成功。現在、ニッポン放送などでパーソナリティをつとめる。

〔著書〕
『日本再生への羅針盤
～この国の「ウイルス」を撲滅するにはどうしたらいいのか？～』
『自己責任～わずか１週間の航海～』
『大マスコミが絶対書けない事　この本読んだらええねん！』
『壊されつつあるこの国の未来』
『こんなこと書いたら日本中を敵に回す本～禁断のアホワールドへ～』
『風のことは風に問え～太平洋往復横断記～』　など多数

京都外国語大学校友会
Tel：075-322-6057　Fax：075-322-6220
https://www.kufs.ac.jp/koyukai/　e-mail：koyukai@kufs.ac.jp

多様な学生と音声・音韻の教育研究

自分の仕事は大学の教員です。毎年数百人の学生に、コミュニケーション、教養ゼミ、英語発音法演習、言語学入門、音声学・音韻論、音声分析入門演習、実験言語学などを教えつつ、国内外で研究発表や論文投稿、啓蒙書執筆、大学運営、外部資金獲得、学部生や大学院生の実験・論文・学会発表の指導などを行っています。多様な業務や出版のプレッシャーと戦いつつ、言語に関わる真理を探究できる環境にいること、また指導学生の成長を見ることができるのはこの仕事の醍醐味です。

日本の大学で数年教鞭をとった後カナダへ大学院留学し、言語理論、消滅危機言語のフィールドワーク、超音波を利用した音声の可視化などを学びました。ワークライフバランスが大切にされているバンクーバーでは趣味のサルサや社交ダンスを楽しむようになるのに時間はかかりませんでした。修了後は同大学で言語学科とアジア学科のリエゾンとなって音声教育サイトを立ち上げ、口内を可視化したビデオを制作、様々な大学で使用されています。



カナダの大学院時代UBC Dance Club サルサ第2位！



山根　典子

h1年度英米語学科卒

PROFILE（やまね　のりこ）

1990年　英米語学科卒業
1992年　外国語学研究科英米語学専攻修了
1994年　筑波大学大学院修士課程教育研究科英語教育専攻英語学コース修了
1995-2003年　愛知県立大学、中京大学、青山学院大学等、非常勤講師
2003-2013年　ブリティッシュコロンビア大学大学院博士課程言語学科（Ph.D in Linguistics取得）
2013-2015年　ブリティッシュコロンビア大学 言語学習サイトeNunciateコンテンツエキスパート及び研究員
2016年　神戸大学非常勤講師　静岡県立大学特任講師
2017年　広島大学人間社会科学研究科（前総合科学研究科）准教授

外大在学時代はバブル全盛期でしたので祇園のマハラジャで踊ったり、学校帰りに留学生を交えて西院のカラオケへ行ったりとよく遊びました。また小野隆啓先生が連れて行ってくださったチョムスキーの京都賞授賞式、イリノイへのFARホームステイ、メビウス研究会、白馬夏季言語学会、荒木一雄先生のご指導のもと初の学会発表など、貴重な経験もさせていただきました。外大でことばに対する感性が高められたことはもちろん、先生方のご指導・励ましや、優秀な学友・先輩・後輩たちに恵まれていたからこそ、現在の自分があるのだと実感しています。



京都外国語大学英米語学科創設60周年記念式典パーティにて。小野先生、赤野先生、倉田先生、柳田先生、小谷先生、田畑先生らと



ブリティッシュコロンビア大学のeNunciateのチームメートと



UBCで作った言語学習サイト
https://enunciate.arts.ubc.ca/

現在、「平和」がキーワードの広島にいます。「言語を通して世界の平和を」もたらすには何が必要か。オンラインで人と人の距離が近くなっている時代だからこそ、たった一言が人の心を、傷つけたりも、また温めたりもします。学生が安心して建設的に議論したり、価値ある知識の創造に邁進できる環境づくりが日々の課題となっています。

言語ではない“ことば”の威力

「生きることは呼吸することではない。行動することだー」これが私の人生訓です。

14歳の頃、プロサッカー選手に憧れて単身ブラジルに渡りました。以来、いろんな縁が重なって、現在は柏レイソルで監督専属通訳として活動しています。

プロサッカークラブの価値はビジネスマネジメント（興行性）とフィールドマネジメント（競技性）のレバレッジを最大化することにあります。現職では訳出・翻訳を行うだけではなく、『ことば』で現場をマネジメントすることが求められています。サッカーに纏わる事象一つ一つを言語化するとき、競技をただやってきただけの人と、広義の意味においてその競技を理解している人との間に大きな違いがあります。実際、スター選手が引退後、指導者に転身した際に誰もが希代の名将になれない理由もそこにヒントがあると私は思っています。

普段、グランドの内外で指導者や経営陣に混じって毎日フットボールのあれこれについて話します。そこでは「サッカーのことば」を用いてコミュニケーションをとるのですが、普段あまり取り上げられることのない重大な盲点があります。それは一見サッカー専門家によるハイレベルなディスカッションのように見える会話も、残念なことに必ずしも明瞭で一貫性のあるものだとは限らないということです。



焼田　功

h19年度ブラジル・ポルトガル学科卒

PROFILE（やきた　いさお）

2007年　双日ロジスティクス株式会社　関西支社　トレードサービス部 輸入課
2008年　サッカーJリーグ1stディビジョン　ジェフユナイテッド千葉　ポルトガル語通訳（選手通訳）
2010年　サッカーJリーグ1stディビジョン　アルビレックス新潟　強化育成本部 強化部 国際業務担当
2016年　新潟大学大学院　現代社会文化研究科修了
2016年　サッカーJリーグ1stディビジョン　株式会社日立柏レイソル　トップチーム　テクニカルスタッフ（監督通訳）

話し手の感覚や主観性によって言葉が一人歩きしてしまい現場が混乱してしまうということはよく起こります。中には通訳の語学力や理解能力に懐疑的な立場をとる人もいたりします。

総じてプロサッカークラブにおいて“言語化”を実践することの究極の目標は多様性を取り入れながら組織を活性化することであると考えるようになりました。言い換えると、異なる文化を「言語」ではなく、「ことば」を通じてマネジメントすることでベストプラクティスを目指すのです。複雑性の高い環境においても意味を部分的に読み替えて、その本質をモデル化し言語化することで異なる文脈に適応させるために、暗黙知を形式知として自分のことばで表現することが求められます。その高度な複雑性ゆえに、AI（人工知能）だけではまだ完結できない職種であるとも言われたりします。

いい通訳がいるから強いチームだと言われることはありませんが、強いチームには必ずいい通訳がいるというのが私の見解です。



夢につながった回り道



咲乃月音（本名：ハット美穂、旧姓：舩越） s63年度英米語学科卒

PROFILE（はっと　よしほ）
1989年　英米語学科卒業。アメリカ銀行大阪支店に入行。
1994年　同行香港支店に異動。
2005年　会社勤めのかたわら執筆活動開始。
2007年　「オカンの嫁入り」が宝島社主催、第三回日本ラブストーリー大賞にてニフティ・ココログ賞を受賞し作家デビュー。
2017年香港からバンコクに、2020年にバンコクからプーケットへ移住。現在に至る。



『さくら色―オカンの嫁入り』
宝島社（2009）



『オカンの嫁入り』
価格DVD　￥5,170（税込）
発売元：KADOKAWA
販売元：東映／東映ビデオ

ずっと物書きになりたかった。例えばペット屋さんとか、例えばアイドルとか、その年齢年齢でふわふわと変わる夢はあったけれど、物書きになりたいという夢はいつも揺らがず心の中にあった。幼い頃からとにかく本を読むのが大好きだったからだけれど、もっぱらの読み手が、どうしたら書き手になれるかはわからなかった。大学は国文科に進もうと決めていた。好きな教科も得意な教科も国語だったし、日本語というものに近い場所にいれば、物書きになりたいという夢にもいつか近くなれそうな気がして。それが高校二年生の夏、ひょんなことからアメリカで一か月ホームステイする機会を頂き、私の人生がコロンと転換した。初めて訪れた海外、見るもの聞くものが全て刺激的で、けれど意思の疎通が全く思うように出来ず、海外旅行後あるあるの「もっと英語を話せるようになりたい！」熱にすっかりとりつかれた。そんなところに当時の英語の先生の「貴女は語学のセンスがすごくあるわよ」との何気ない一言で「もっと英語を！」熱が更にメラメラと燃え上がり、国文科から外大へと突然進路を変更してしまった。外大を卒業後は外資系の会社に就職し、５年間大阪支店で勤めた後、同じ会社の香港支店にこれも瓢箪から駒のような形で異動になった。上司や同僚に恵まれ、仕事にもやりがいを感じ、初めて住むパワー溢れる香港という街での毎日がキラキラとめまぐるしく過ぎてく中で、幼い頃から温めていた物書きになりたいという夢は心の奥のほうに沈んでいっていた。それをまたくっきりと浮かび上がらせてくれたのが、香港で出会った友人からのメールマガジンのライターへの誘いだった。社交的でお友達も多い彼女がたまたま声をかけてくれたのが私だったことが今思っても不思議でもあり、ご縁のありがたさだなと思う。初めての、読み手の方にお届けするということを前提で書くという作業は思った以上に楽しく、それを第一歩に、もっと書いてみたいとSNSでの発信を始め、さらに出版社の公募に挑戦と歩を進めてみた。そして幸運にも、ある出版社主催の文学賞に入選して作家デビューが叶った。英語をもっと！の道へと進んだのは物書きになるという夢から遠ざかったように思えたときもあったけれど、そちらに進まなければ作家になるという夢は叶わなかった。違うと思った道は思いもかけず私を一番行きたかった場所に連れていってくれた。42歳での作家デビューということを思えば少し遠回りの道だったけれど。終わり良ければ総て良し。いやいや、まだまだ終わりではなくて。一応作家というものになれたものの、作家としてコンスタントにお仕事をしていくというレベルにはほど遠く、果たしてそこに辿り着けるのかと正直不安になるときもあるけれど、進まなければどこにも行けない。また思いもしない人生のステージに繋がることを夢見ながらまだまだ歩いていきたい。



映画『オカンの嫁入り』撮影セットにて



「校友会Tーシャツのお陰で」

米国ハワイ州公立学校教員
倉住　里美　h3年度英米語学科卒

私が勤務している公立中学校は低所得や移民の家庭の子供達が大半です。生徒達の未来を改善するため、大学進学に対する早期の認識を高め準備させるため、ワークショップで大学進学に必要なことを教えたり、廊下をアメリカの大学の旗で飾ったり、毎週水曜日に教職員がアメリカの大学のロゴ入りのシャツを着るなどして生徒達にインスピレーションを与えるよう努めております。同僚にある日、母校のTーシャツは持ってないのかときかれたのがきっかけで、京都外大校友会Tーシャツを購入させていただきました。校友会の島谷様は海外郵送を引き受けていただき、とても有難かったです。外国の大学のシャツを着ている先生方が他にも何人かいらっしゃいますので国際色豊かです。言語を通して世界の平和を。このフレーズは外大卒業後何年経っても忘れておりません。私の生徒の多くがミクロネシアからの移民で、英語習得はこれからというような生徒もいるので、マーシャル語やチューク語を学びながら、移民の子供達に少しでも寄り添って、アメリカでの義務教育を無事に修業できるよう多様な援助を与えるよう努めております。毎日学校で生徒達と過ごす時間がとても楽しく、小学生の頃から夢見ていた教員職につけてとても幸せです。それも外大でお世話になった教職員の方々、そして大学教育を一生懸命サポートしてくれた両親のお陰だと心から感謝しております。Aloha!



ホノルルにあるオセアニアのオーガナイゼーションを訪問した際にとった写真。半分が学校のスタッフです



カレッジフラッグを飾っている廊下で、カレッジTーシャツを着た同僚と一緒に



「多様性・多面性」

イギリス在住
浅越　絵美子（旧姓：信國）h9年度英米語学科卒

英国は以前からDiversity & Inclusionの徹底を重要な人事戦略トップ３と位置付け、多様性・多面性を認め合う文化を形成しようとしています。新たな社内文化を形成できた企業はそうでなかった時期に比べ33％も業績アップしたデータもある程です。先日300人強の短期プロジェクトに参加した時、これが雇用側だけではなく、個人へ浸透しつつあると感じました。全員国籍バラバラ、私の上下20歳も違う人たちと数人毎のチームを都度形成していく際、以前は「Where are you from?」と聞かれていたのですが「What is your ethnicity?」と尋ねられることに驚きました。両親が同じ国の出でない人や出生国、育った国、両親の在住国、自分の在住国が全て違うチームメイトも珍しくなく、またそれを踏まえ多面的に個々を尊重しようとする雰囲気が働きやすく新たな発見となりました。このような体験も母国語以外の言語を大学で学び英国で働く機会が得られたお陰だと日々感謝しています。





Huffkinsでの筆者、コッツウォルズの街並み

令和３年度「校友会奨学金 授与」慶びの声

外国人留学生給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部



イップ センヘイ
（日本語学科・r3年度卒）

将来は文化交流で日中友好を促進したいです。



アニンディア ムティアラ
（グローバルスタディーズ学科・r3年度卒）

大学院に進み、国際機関で働く夢の為、勉学に励みます。



ヨウ エンブン
（グローバルスタディーズ学科・r3年度卒）

専門知識と語学力を活用し貿易関連に勤めたい。



リ ツンメン
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

SDGsの目標達成の為、さらに学業に励みます。



リー シケン
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

さらに勉学に励み、通訳者を目指したい。



リン カクセイ
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

メディア会社を起業、世界に香港文化を見せたい。



ジン ユンス
（グローバル観光学科・4年次生）

身につけた経験と知識を基に、貿易業界で活躍したい。



パク ジヒョン
（グローバル観光学科・4年次生）

学びを深め、将来ホテルでサービスを提供したい。

■ 留学生別科



オウ･シュンギョウ
（留学生別科）

日本の大学へ進学し、作家を目指したいです。



ウィン・レッ ピェー ウー
（留学生別科）

日本文化を学び、ミャンマーと日本の架け橋となる。





「輝く星となる学生」給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部



江良　みゆき
（グローバル観光学科・3年次生）

私の目標は、観光の力を活用して京都の伝統産業の発展に貢献することです。観光、言語、異文化間交流を学ぶことを通して柔軟な価値観を育み、様々な地域に寄り添うことのできる人材になれるように励んで参ります。



石井　紋芽
（フランス語学科・3年次生）

私は海外の国の教育機関で日本語教師をすることを目指しています。そして日本語の自信を与え日本に留学をしたい、働きたいといった誰かの人生のキーパーソンとなる存在になります。



相馬　あすか
（フランス語学科・4年次生）

私には４年間で成し遂げたい３つの目標があります。既に達成できたフリーガイドクラブでの活動とフランス語プレゼン大会への出場、憧れのフランス留学。言語を通して世界の架け橋になるべく、今後も挑戦し続けます。



曲谷　一成
（グローバルスタディーズ学科・3年次生）

この度は「輝く星となる学生」としてご支援いただけますことと厚く御礼申し上げます。
私の夢は海外でビジネスを通して社会に貢献することです。今後は本年度出発のアメリカ留学に向けての勉強に専心してまいります。



倉谷　歩佳
（グローバル観光学科・3年次生）

このような機会をいただき、将来の展望に向かって歩む前向きな思いにつながり大変嬉しいです。今後は語学力の向上や、観光に関するコンテンツ作成のための表現力やデザインについて学びを深めていけるよう、課外活動などに励んでいきたいです。





併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金　授与式

令和４年１月21日（金）１号館171教室にて「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式が執り行われました。この制度は、大学に推薦で編入学試験を受験し、見事合格された向学心溢れる学生の皆さんの受験料を支援する制度です。今年度は、37名の学生に補助金が贈られました。

コロナ禍の中ではありましたが、しっかりと感染対策を講じ、対面での授与式には、大勢の学生が出席しました。

校友会会長、松田学長のご挨拶、代表学生の謝辞と、大変厳かな雰囲気で授与式が執り行われました。短大生の皆さん、心よりお祝い申し上げます。





「輝く星となる学生」奨学生の今



横田 礼菜
r1年度英米語学科卒

私は短期大学から編入したのですが、短期大学生の際に推薦でオーストラリアに語学研修に行く機会がありました。オーストラリアに行くまでには、様々な空港を経由しなければならず、とても不安だった私の顔を見て、グランドスタッフの方が経由地での楽しみ方をとても丁寧に教えてくださいました。そのおかげで不安でいっぱいだった心が楽しみでいっぱいに変わりました。この経験から私はグランドスタッフを目指し、実際にご縁があり、目標としていた職業に就くことができました。グランドスタッフとして働く上で、大学で学んでいた、英語や旅行業についての知識、航空業界全体についての歴史などはとても役立っております。現在はコロナ禍でなかなか色々なところに旅行に行くのは難しいと思いますが、早くコロナが収束し、皆さんを空港でお迎えできる日を願っております。



NOW



孫　寧梓
h29年度日本語学科卒

来日10年、自身の学生時代はいつも受け身の授業であったように思えます。今、教師として教壇に立ち生徒と向き合い、自分も含めて生徒に足りなかった部分が見えてきました。それは「自ら学ぼうとする姿勢」です。どうすれば生徒たちにこの姿勢が身につくのか、試行錯誤の毎日です。

私のクラスには日本語が苦手な留学生もいます。恩師である中西先生の教えを思い出しながら、大学時代の発表映像を見せて「積極学習」の大切さを説明し、弁論大会や授業発表の機会を設けて、生徒が主体となる授業展開を実施しています。

これまで4年連続で139名の卒業生を送り出してきました。毎年、卒業する生徒たちには、次のステージで成功してほしいという願いと、本当に大丈夫かという不安が混交した複雑な思いになります。そして、この思いは宇城先生はじめ母校の先生方が、私の卒業時にも同じ思いをもったであろうと拝察いたしております。これからも母校で培った経験を生かし、教育者としてさらに精進していきたいと思います。



「外国人留学生給費奨学生」の今

京都外国語大学創立75周年記念行事

本学は、2022年5月18日に創立75周年を迎えました。森田一郎先生、倭文子先生によって昭和22年（1947年）にこの地、京都に外国語学校を創立以来、建学の精神である「PAX MUNDI PER LINGUAS －言語を通して世界の平和を－」のもと、幾多もの困難を乗り越えながら現在の礎を築いてまいりました。その間の卒業生数は6万名に迫り、国内をはじめ世界中のさまざまな分野でご活躍されています。

皆様方の温かいご理解とご協力のおかげで、新たな節目を迎えられたことは、私たち教職員にとって大きな喜びでございます。この先の100周年、さらにその先の未来を見据え、グローバル時代をリードする大学の一つとして、教育力の強化とそれに伴う教育環境の整備に努め、持続可能な社会を担う人材の育成を全力で取り組む所存です。引き続き、ご支援いただきますようお願い申し上げます。誠にありがとうございます。

学園創立75周年記念行事の一部を紹介します。
❶ 京都外国語大学国際文化資料館特別展
❷ 京都外大西高等学校 校舎、体育館耐震整備【建築】（高等学校創立65周年記念事業）
詳細等については、決まり次第本学ホームページでお知らせします。

■ 京都外国語大学

日本最多レベルの19言語から学べる外国語学部と、国内外のコミュニティで課題解決に挑戦する国際貢献学部の2学部体制。国際社会の平和に貢献し、次世代を担う「人間力」豊かなリーダーを養成します。

外国語学部では、外国語大学ならではの多言語環境を生かし、専攻語を徹底的に学ぶとともに、ひとつの言語圏にとらわれない豊かな国際感覚を身に付けます。少人数制クラスで、プレゼンテーションやディスカッションの機会が多く、アットホームな環境で全員参加型の授業を展開しています。さらに、社会的ニーズに適応した幅広い分野の教養教育を用意。社会で活躍できる人材を養成します。

国際貢献学部では、世界で起きている問題をグローバルな視点でとらえ、解決に導く「チェンジメーカー」を輩出します。学部の核となる学び「コミュニティエンゲージメント」では、世界中のコミュニティ（地域社会）を活動の場とし、現地の人々との協働を通じて共通する課題：国連の定める17のSDGs（持続可能な開発目標）に取り組みます。実践を通して学びを深め、グローバル社会を生き抜く異文化理解力やコミュニケーション能力を養います。

■ 京都外国語短期大学

昼間の時間を自由に活用できる夜間課程。仕事や家庭、資格取得の勉強などと両立させながら、効率よく学べます。留学や大学への編入学を支援する制度に加え、報酬を得ながら就業体験をするペイドインターンシップも充実。将来のキャリアにつながる実践力を養います。







What's KUFS
最新の情報はこちらから



国際貢献学部

はじめての卒業生

Be a Changemaker



グローバルスタディーズ学科

中井彩葉（r3年度卒） ⋯→ 就職先：シャネル合同会社

本校を選んだ理由は、「好きな英語を通じて、いろんなことを学びたい」でした。私の期待通り、留学生たちと過ごす学生生活やオールイングリッシュでの授業など全てが新鮮でした。しかし、私自身の英語力では授業についていくのも大変で悔しい思いをしました。周りの学生たちは楽しそうに英語で会話しており、そんな光景に憧れを抱いていましたが、憧れているだけではどうにもならないなと強く思いました。それは日々努力して新しいことにどんどん挑戦している仲間がたくさんいたからです。そんな姿に大きく影響され、間違えるのが恥ずかしくて発言をためらっていることもありましたが、日々の授業や留学の経験により、自信がついていきました。

また京都には海外からの観光客も多く、そんな方々と英語で会話をする機会があり、より楽しさを実感していました。自分だけではなく誰かのためにも英語は必要だと感じました。就職活動においては、コロナ禍で周りの状況も分からず不安でしたが、キャリアセンターの方々との面談などを通し、誰かが喜んでくれることが私の喜びであり、またそれが自分らしさであるということに気づき、希望する企業を見つけることができました。入学の際に抱いていたように本校で多くのことを経験しました。この４年間で経験したもの全てが私の財産でありこれからの人生の糧になると思います。４月から始まる新しい環境でも私らしく、何事にも恐れずに挑戦し続けていきます。











Aaron P Campbell

Associate Professor
Department of Global Studies
Faculty of Global Engagement
Kyoto University of Foreign Studies

I'm proud of Ms. Nakai's achievements during her time in the Department of Global Studies. By joining Chanel, she now has the opportunity to put into practice the knowledge and skills she acquired at KUFS to make a meaningful contribution, not only to her new organization, but also to society. As a changemaker, Ms. Nakai will identify social problems and take creative action to solve them. She will exercise the courage and tenacity to see and do things differently than are already being done. This is the mark of a true Changemaker. Way to go Ayaha!

グローバル観光学科

柴垣朱梨（r3年度卒業）⋯→ 就職先：株式会社西村屋

私の生まれ育った場所は、所謂田舎で、素敵な所だけれど皆に気付いてもらえていない気がしていました。しかし、地域にとっての当たり前は、大変価値のあるものばかり。観光の力で故郷を活性化させ、地域の方が地元に誇りを持てるような場所にしたいと思い、この大学へ進学しました。

観光学科って何を勉強するの？と思われる方は多いかもしれません。実はあらゆる産業は観光に繋がっていて、様々な角度からのアプローチが可能です。観光学科には、観光学に関する国内有数の先生方が在籍されており、VR等の最新技術も用いて学ぶことができました。そんな先生方でも、頼ればしっかり応えてくださる温かい方ばかりです。また、学生の方は、目標を持っていて、行動的な人が多く、何度も刺激を受けました。立地も良く、観光地にすぐ行くことができたので、調査にも遊ぶにも最適でした。

在学中は、より良いおもてなしができるように、茶道等に力を入れました。本場京都で学んだことは大変貴重な経験となりました。

卒業後は宿泊業に携わり、沢山の方とお会いできることを楽しみにしています。今に至るまで、周囲の方からはよく安定した職業に就いた方がいいと言われてきました。しかし、お客様にお会いし、地域や旅館の魅力を直に伝えられることに心を惹かれ、私の場合はやってみたいという気持ちが勝りました。

今後も自分の“好き”や“興味”に蓋を閉じず、向上心豊かに社会人生活を送りたいと思います。







マレーダンスを習いました



インターンでスパへ行きました



Jeff Berglund

Professor
Department of Global Tourism
Faculty of Global Engagement
Kyoto University of Foreign Studies

The Department of Global Tourism started in 2018, so March 2022 marks our first graduation ceremony. Of course the students have learned many things from us teachers, but we have also learned many things from them. From the first fieldwork in April 2018 through classwork and CEP activities, we all learned about the importance of team building, a mindset that will serve all graduates well in whatever workplace they find themselves after graduation. The Class of 2022 is filled with highly motivated and confident individuals, and we are so proud of them! Always remember our motto: Pax Mundi Per Linguas, and be a Changemaker working for World Peace! Congratulations! Please come back and visit us anytime!

在学生からのメッセージ





長瀬 太一

英米語学科
r3 年度卒

コロナ禍でも全力で楽しんだ大学生活

対面授業が再開した2021年度は、４年次生でありながらも月曜日から金曜日まで授業に励み、異例ではありますが、課外活動として外大祭実行委員会に４年次生まで所属していました。また、ランゲージセンターでスタッフとして関わることもあり、2020年度とは180度方向が違う過ごし方をしました。さらに４年間全ての授業を欠席することなく大学生活を送ることができて嬉しく思います。そして今まで携わってくださった職員、先生方、そして学生の皆さんにとても支えられた４年間だと感じています。



妙中 利輝人

スペイン語学科
4 年次生

私は、幼い頃から日本史に興味があり、その中でも南蛮貿易について関心がありました。その時にスペインという国を知り、より深くスペインについて学びたいと思い京都外大に入学しました。京都外大では、スペイン語圏の歴史や文化について語学を通して学ぶ事ができています。将来はスペイン語教師、英語教師として働きたいと思い教職課程も履修しています。今年９月からスペインへ留学し、スペイン語教育を学習したいと考えています。



山本 健司

フランス語学科
r3 年度卒

コロナ禍でも充実した学生生活を送ることができました。

大学３年生の開始と同時にオンライン授業へ切り替わり、翌年に予定していたフランス留学が叶わぬ夢となりました。

しかし、何らかの形でフランス語を活用したいと思い、先生の紹介を通じて、オンラインでフランスの学生達と交流会を結成し、交流会の運営に携わりました。

この活動を機に、４年生ではディベート大会とプレゼンテーション大会に出場し、ディベート大会では優勝することができました。



梶本 たつみ

ドイツ語学科
r3 年度卒

在学中、ドイツのケルン大学へ派遣留学の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。しかしその代わりに、短期ドレスデン工科大学のオンライン留学に参加することができました。ドイツ語で意見を述べる事の難しさ、相手に伝わった時の喜びをとても感じました。ドイツ語を学ぶ中でドイツ文化に触れ世界が広がりました。この４年間楽しくドイツ語を学べたのは、いつも丁寧に教えて下さった先生方や一緒に学びあえた友達のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。



新藤 祐樹

ブラジル
ポルトガル語学科
4 年次生

私は高校時代のポルトガル留学がきっかけでこの学科に入学しました。文法はもちろんのこと、文学・歴史・文化・ジェスチャーなども学習出来ることが魅力だと感じています。２年生に進級して以降、コロナ禍で思うような授業や課外活動が出来ず、歯痒い思いをして来ました。しかし、その渦中でも剣道の三段に昇段でき、文武両道に励んでいます。また、ようやく留学できることになったので様々なものを吸収し、世界で活躍できる人材になりたいです。



久田 あゆか

中国語学科
r3 年度卒

「やらずに後悔より、やって後悔」をモットーに、成長できた４年間でした。「変わりたい」という思いが原動力となり、台湾への短期留学や語学ボランティアへの参加、語劇祭では主役を演じ、弁論大会では総長賞を頂きました。勇気の一歩を繰り返すうちに自信がついていき、失敗を恐れず挑戦できるようになりました。コロナウイルス蔓延による留学中止にも見舞われましたが、ご指導くださる先生方や高め合える仲間のおかげで成長できた、実りある学生生活でした。社会人になっても、「まずやってみる」精神を忘れず、果敢に挑戦していきたいです。



赤木 夏帆

日本語学科
r3 年度卒

私は国語教師になる夢を実現するために、京都外国語大学の日本語学科に入学しました。大学では教師になるうえで大切な知識や技術を身につけ、その結果教員採用試験に合格することができました。熱心に指導していただいた先生方、サポートし続けてくれた家族、共に励まし合いながら試験対策に取り組んだ友人達には本当に感謝しています。これからは京都外国語大学の卒業生として、自分に自信を持ち、胸を張って教育に携わっていきます。



山下 真奈

イタリア語学科
4 年次生

2021年度、特に印象に残っているのは関西学生イタリア語朗読大会にて優秀賞をいただけたことです。３分程の詩を暗記することにまず苦戦し、頭の中で唱えながら通学する日々を２か月過ごしました。大会出場を知った先生方がご自身から声をかけて応援してくださり、朗読と発音のご指導をいただいて感謝してもしきれません。結果を出せたのは間違いなく親身に練習に付き合ってくださった先生方のおかげですし、なにより良い結果をもって恩返しできてよかったです。



松本 真実

国際教養学科
4 年次生

中学生の頃より紛争や少年兵に関して強い関心を持ち、自分なりに調べてきました。国際社会を深く学びつつ、語学力と異文化コミュニケーション能力を高め、世界にチャレンジできる女性になりたいと思い、本学への進学を決めました。コロナ前は海外留学や東南アジアでの建築ボランティアなどアクティブに活動してきました。現在は新型コロナウイルスの影響で授業などの行動に制限がかかっていますが、今自分ができることを探しつつ、資格勉強や就職活動、専門分野の研究に励んでいます。



池田 葉那

ロシア語学科
2 年次生

高校でロシア語の授業を選択し、その面白さに惹かれロシア語学科２期生として本校に入学しました。コロナ禍での感染対策に息苦しさを感じつつも、言語を学ぶ上で直接顔を合わせての授業は自身の成長に大きく繋がりました。明確な夢はまだありませんが、地元の北海道で学んだことを還元できたらと考えています。この一年間ロシア語に触れて、さらに魅力を感じられるようになりました。次年度では留学に向けて頑張りたいと思います。



Prateep Na Thalang Thanavut

グローバル スタディーズ学科
3 年次生

Even though the Covid-19 pandemic changed our lives completely, Global Studies students continued to challenge themselves every single day to cooperate and create ideas to help this world as Changemakers. As a foreign student from Thailand, I was very happy to gain such great experience as a Global Studies student. In 2021, I participated in JUEMUN 2021, the Maizuru UNESCO Workshop, and the United Nations VR Simulation with Professor Angus McGregor and my classmates. Those activities helped me to connect with people in both local and international communities. It has been one of the most enriching experiences in my life.



石橋 尚子

グローバル観光学科
4 年次生

１年次生の頃から学内・学外の活動に沢山参加しています。学内では観光学科のブログ活動や、英字フリーペーパーのENJOY KYOTOの紙面作成、学外では他大学の公開講座への参加、資格・検定の取得等、充実した大学生活を送っています。休日には観光に関する授業で聞いた情報を基に、京都散策へ行くこともあります。京都で言語や観光を学びたいと思い入学し、あっという間に３年が経ちました。卒業後の道はまだ考え中なことに加えて、新型コロナウイルスの影響で思うように動けないことも多々ありますが、学べる事はとことん吸収し、更に成長していきたいです。



森川 卓

キャリア英語科 r3 年度卒
（英米語学科 3 年次生編入）

高校の頃、英語は苦手な方でしたが、エアライン系に就職したいと思い、京都外国語短期大学に入学しました。

一回生の頃は、ほとんどの授業がオンラインのみの開催で、友達を作る機会もない状況でした。ですが、元々京都外国語大学を目指していたこともあり、推薦編入学のために、TOEICスコアアップや高い授業評価を得るために努力しました。その結果、英米語学科へ編入学することができました。校友会会員の皆様には、推薦編入学検定料の補助をして頂きました。ありがとうございました。編入後も、自分の能力向上のため、目標や夢を叶えられるために励みたいと思います。

→ 和歌山支部

支部長　戸川定昭　s62年度英米語学科卒



令和３年度第11回和歌山支部総会・講演会を、７月４日（日）ホテルアバロームきのくに４Ｆ羽衣の間で開催いたしました。

総会では、今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら、できるだけ行事を実施するという方針が承認を得ました。

総会後、本支部顧問で、元県立高校校長、薮添泰弘氏から「おかげさまで～教員生活50年を振り返って～」というタイトルで講演していただきました。

最後に、出席者全員で記念写真を撮り、和やかな雰囲気の中、総会・講演会を終了いたしました。

→ 兵庫支部

支部長　川口榮一　s41年度英米語学科卒



「第８回兵庫支部・総会懇親会」を2021年10月17日に、コロナへの感染防止を配慮しオンラインで開催いたしました。ホテルヴィスキオ尼崎を配信場所とし、自宅等から約20名の方に参加いただきました。堀川徹志理事長・総長、島谷直見校友会会長からビデオレターによる励ましのお言葉をいただき、またゲストとして「ジェフバーグランド教授」をお迎えし「受ける日本人、つながる日本人。いま世界に伝えたい受信力」というテーマで講演いただきました。その後３組に分かれ、多くの方とお話しする機会を持つことが出来ました。一日も早くコロナが収束し、会場にて卒業生の皆様や先生方にお会いできます事を心より願っております。

→ 滋賀支部

支部長　木下輝明　s41年度スペイン語学科卒



令和３年11月６日第３回滋賀支部総会・親睦会（ライズヴィル都賀山）

校友会島谷会長、杤込会計、中司常任幹事出席、卒業生・在校生の保護者出席。田中英之（h4A）文部科学副大臣からの祝電、行動科学研究所岩田静治（s36A）先生からのメッセージ（人生100年時代を如何にしてダイナミックに、豊かに、おだやかに生きるか）をいただき、又、京都支部からのにおい袋の提供など、コロナ感染対策をして33名の参加で開催。

総会後のセミナーで「老化や病気に打ち勝つ為のラフターヨガ」加納友美子（s60A）、親睦会食事中の拾井満（s52A）グループバンド演奏で楽しみました。

和歌山支部　第27回　小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会開催報告

令和３年12月５日（日）和歌山市河西コミュニティセンターにおいて、第27回ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会を開催しました。

小学生の部は、課題英文暗唱。中学生の部（スピーチ）は、郷土愛、国際交流、環境問題、地元出身のオリンピック金メダリストから学んだことなど、様々なテーマで、４分以内で自分の意見や考えを発表しました。

子どもたちが一生懸命に発表する姿やスピーチの内容が聴衆の心に響き、たくさんの感動を与えてくれました。



支部長　戸川定昭（s62年度英米語学科卒）

→ 福岡支部

支部長　北村　亨　h10年度スペイン語学科卒

令和３年度 京都外国語大学校友会 福岡支部総会懇親会（2021年12月12日（日）開催）

当初９月に予定していた福岡支部総会ですが、コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け12月へと変更。お店のご協力もあり、対策徹底のうえ何とか無事に開催することができました。行動制限の厳しい環境下、島谷会長をはじめ村井副会長、東常任理事にもご臨席を賜り感謝でいっぱいです。小規模でささやかな会ではありましたが、オンラインなどではなく直に皆さんとお会いできる嬉しさを心からかみしめた一日でもありました。コロナ禍だからこそ改めて感じた支部会の存在意義。この縁を絶やさないよう大事にしていきたいと思います。



→ 東京支部

支部長　青木光子　s52年度英米語学科卒

「縁」～ ENISHI ～遠く懐かしく、そして　新しい

「第33回関東地区卒業生の集い」を３月５日に、運河に浮かぶ水上レストランT.Y.Harborを貸切にして開催しました。50名以上の卒業生の参加があり、和やかな交流の中、理事長・総長の堀川先生と東京支部設立者の有本氏のメッセージを読ませていただき、また卒業生が提供してくださった素敵なグッズの抽選会を行いました。学年学部をこえて、みんなで盛り上がりました。自然災害、新型コロナ、戦争と悲しい事が多々ありますが、愛と絆の大切さを願い、東京支部のテーマである「縁 ENISHI」を大切にして、卒業生の良いご縁を繋いでいただければ幸いです。



→ EU 支部

支部長　松本（モラン）幸枝　s45年度フランス語学科卒

長期にわたるコロナ禍の中で私共EU支部は昨年９月25日にオンライン総会を行いました。初めての試みで心配も多々ありましたが、思いのほか楽しいひと時を過ごすことができました。21名の参加者、当日は校友会会長にもご参加いただきお言葉を頂戴することができました。画面上でみなさんが一堂に会したのち４、５人の小グループに別れて、それぞれ15分ぐらいの会談をランダムにメンバーを入れ替えながら３回実施しました。この小グループ会話は会員同士のコミュニケーションに大いに役立ったと思います。EU支部は、コロナ禍の心配がなくなった時点で、一同に会する総会を、そして今後はオンライン総会と並行して懇親会を実施したいと思います。



日本語学科　30周年記念行事

2021年に日本語学科が創設30周年を迎えるにあたり、同年11月３日に記念行事を実施しました。オンライン開催という困難な条件の中での実施となりましたが、校友会からの多方面での支援、そして多くの卒業生ボランティアスタッフの協力を得て、半年間にわたる準備もすばらしいチームワークで進み本番を迎えることができました。当日は、懐かしい先生方のご参加、宇城由文先生の記念講演、他にも面白い企画が盛りだくさんで卒業生の皆様にも懐かしく有意義な時間を過ごしていただいたのではないかと思います。10年後の再会までお元気にご活躍ください。



日本語学科長　田中道治

令和３年度　校友会事業報告

主な行事	
6月　9日(水)	校友会外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈8号館2階　会議室B〉
7月12日(月)	2020年度（R2年度）「輝く星となる学生」給費奨学金授与式〈8号館2階　会議室B〉
12月　3日(金)	校友会外国人留学生給費奨学金授与式〈4号館　6階〉
■ R4年	
1月14日(金)	校友会給費奨学金「輝く星となる学生」奨学金授与式〈8号館2階　B会議室〉
21日(金)	校友会併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金(給費)授与式〈1号館7階　171教室〉

支部総会・懇親会	
7月　4日(日)	和歌山支部総会・講演会〈ホテルアパロームきのくに〉
9月25日(土)	EU支部　オンライン総会
10月17日(日)	兵庫支部総会・懇親会（オンライン）
11月3日(水・祝)	日本語学科30周年記念行事（オンライン）
6日(土)	滋賀支部総会・親睦会〈ライズヴィル都賀山〉
12月　5日(日)	第27回　ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト〈和歌山市河西コミュニティセンター〉
12日(日)	福岡支部総会・懇親会〈アゴーラ福岡山の上ホテル＆スパレストラン暦〉
■ R4年	
3月　5日(土)	東京支部総会・懇親会「第33回関東地区卒業生の集い」〈T.Y.Harbor〉
6日(日)	能楽部　OB総会・謡初めの会〈京都市右京ふれあい文化会館〉

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

令和４年度　校友会事業計画（令和4年4月末現在）

5月28日(土)	高知支部総会・懇親会〈ホテル日航高知旭ロイヤル〉
28日(土)	鹿児島支部　60周年記念総会・懇親会〈薩摩英国館〉
7月　3日(日)	和歌山支部総会・講演会〈ホテルアパロームきのくに〉
30日(土)	教志会　英語授業実践報告研究会実施報告
8月　7日(日)	福井支部総会・懇親会〈福井アカデミアホテル〉
14日(日)	徳島支部総会・懇親会・阿波おどり（予定）
20日(土)	富山支部総会・懇親会（予定）
9月25日(日)	福井支部　国際フェスティバル〈福井県立図書館〉
10月　8日(土)	校友会設立60周年記念総会・講演会〈森田記念講堂〉
16日(日)	兵庫支部総会・懇親会〈ホテルヴィスキオ尼崎〉
10月下旬～11月初旬	石川支部総会・懇親会（予定）
11月　6日(日)	福井支部　REINAN国際交流のつどい〈福井国際交流嶺南センター〉
11月	東京支部総会「関東地区卒業生の集い」（予定）
11月頃	京都支部総会（予定）
12月11日(日)	和歌山支部　ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト〈和歌山市中央コミュニティーセンター〉
■ R5年	
1月21日(土)	大学との新年会

※大阪支部は本年度支部総会を開催予定です。
※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会の会議を除く
新型コロナウイルス感染拡大のため、事業計画は大幅に変更する場合があります。

〔SNS開設についてのお願い〕
校友会支部・クラブOB会などのSNS開設に関しましてはプライベートグループの管理者設定でお願い致します。また校友会ロゴの使用は正式な校友会パブリシティ広報活動として使用し、SNSなどの任意のコミュニケーションツールでは使用を控えてくださいますようお願い致します。

■ 校友会役員

会　長	中野多郎右工門	(s44A)
副会長	村井　正博	(s45A)
副会長	木下みゆき	(s56H)
書　記	杉本　博司	(s53A)
書　記	三角　雅彦	(s57A)
書　記	川本　葉子	(h09A)
会　計	杤込　敏一	(s63A)
会　計	加納友美子	(s60A)

■ 校友会監査

監査役	神谷　昌明	(s55A)
監査役	左近　正則	(s58A)
監査役	辻本　誠志	大学事務局長

■ 常任幹事

髙橋　榮一	(s45A)	北田　　繁	(s46A)
前田　正久	(s46A)	神屋　信仁	(s47G)
柴岡　和生	(s48A)	小林　弘明	(s50A)
宮本　省司	(s51A)	手塚志津恵	(s51A)
青木　光子	(s52A)	地紙　恵子	(s52I)
大野　和男	(6E)	藤本　豊巳	(s54I)
中司　浩幸	(s59E)	池田　　稔	(s61I)
吉田　英子	(s63A)	金島　由香	(h01A)
東　　啓治	(h02A)	前田　恵美	(h10A)
野中　　仁	(h15I)	大塚　妙香	(h19G)
ウイルソン恵	(h22A)	橋口　莉奈	(h26A)

■ 校友会支部連絡先　※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

令和4年5月末現在

〈国内支部〉

東京支部	支部長	青木　光子	yuiyu81@yahoo.co.jp
大阪支部	支部長	植松　宏行	uhiairun@bell.ocn.ne.jp
京都支部	支部長	古澤　昭人	dan-akito@maia.eonet.ne.jp
徳島支部	支部長	朝日 紀世志	asahi-1@nifty.com
富山支部	支部長	杉本　博司	hiroshisgmt@gmail.com
石川支部	支部長	手塚 志津恵	kyoshitsu109@coda.ocn.ne.jp
高知支部	支部長	柴岡　和生	shiba9462kazu@me.pikara.ne.jp
福岡支部	支部長	北村　　亨	alumni.fukuoka@gmail.com
鹿児島支部	支部長	鬼丸　　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長	戸川　定昭	s.togawa@gaia.eonet.ne.jp
福井支部	支部長	松川　欽哉	kichan22@mx4.fctv.ne.jp
兵庫支部	支部長	川口　榮一	info@chuken.org
滋賀支部	支部長	木下　輝明	azuchiteluaki@smile.ocn.ne.jp
沖縄支部	支部長	活動休止中	
Club HAT's	会長	垣見　和人	club.hats2016@gmail.com
教志会	会長	左近　正則	sakonmasanori59@gmail.com

〈海外支部〉

ロサンゼルス支部	支部長	再活動準備中	
EU支部	支部長	松本(モラン)幸枝 (s45F)	matsumoto-morin@orange.fr
メキシコ支部	支部長	原田　泉 (s47E)	i_harada1011@yahoo.co.jp
アルゼンチン支部	支部長	谷口　庄平 (s37A)	shohei@taniguchi.com.ar
ブラジル支部	支部長	ヴォウタニ 友美 (h15H)	actually_tomomi@hotmail.com
チリ支部	支部長	山口　大介 (h1E)	yamaguchi@kanpomarino.cl
上海支部	支部長	奥原　崇之 (h4I)	takayuki.okuhara@ykk.com wechat ID：t-okuhara
シンガポール支部	支部長	再活動準備中	
香港支部	支部長	再活動準備中	
韓国支部	支部長	康　淑姫 (h20J)	toku-duhi@hotmail.co.jp
台湾支部	支部長	澁谷　浩 (s60I)	hao-segu@biduying.com.tw

■ 活動中のクラブ OB 会紹介　※下記クラブ OB 会と連絡をおとりになりたい方は、京外大校友会・事務局（075-322-6057）にお電話ください。

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
卓球部	中辻　政明	s43A
サッカー部	森本　昌利	s57G
ソフトテニス部	吉田　一郎	s39A
ヨット部	門谷　伸二	s47H
弓道部	上野　森由	s38A
空手道部	前田　早斗	s63A
剣道部	作間　幸雄	s59A
硬式庭球部	山本　正太	h14A
硬式野球部	野村　貞夫	s45A
柔道部	河越　将守	s44A
少林寺拳法部	中川　贊一	h03I
陸上競技部	藤田　和孝	s44A
ボクシング部	笹本　嘉久	s51E
バレーボール部	入江　　実	s46E
バスケットボール部	大元　浩文	s58A
応援団	川中　健司	s44A

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
スカウトクラブ	植木　省道	s55E
ローターアクトクラブ	神谷　昌明	s55A
自然科学研究会	橿本　五代	s49A
海外事情研究会	沢田　勝義	s46H
混声合唱団ソレイユ	大野　和男	6E
貿易研究会	植松　宏行	s43A
能楽部	島谷　直見	s51A
FGC	藤田　　卓	s45A
弦楽アンサンブル	宮田　怜奈	h30A
吹奏楽団	平原　靖彦	h01I
ドイツ語研究会	神屋　信仁	s47G
ESS	前田　正久	s46A
学生放送局	小杉　征義	s38A
アメリカンフォークソングクラブ	田賀たづみ	s44A
スペイン語研究会	吉富志津代	s53E

※変更がある場合には校友会事務局へご連絡をお願いします。